

原発問題

——現在、どのくらいの避難者がいるのか。

自主避難されている方について、正確には情報を把握しきれていないが、小中学生については、15人が転校している状況である(平成23年11月9日現在)。

今後とも、町外へ避難されている町民の皆さん、町内へ避難されている方々へのケアが必要であるため、避難者等の情報があれば、役場に連絡していただきたい。なお町内に避難されている方々に対して、回覧板の提供、組の手伝いの負担軽減など、柔軟に対応していただきたいと思う。

放射能のモニタリング(継続監視)

——ほかの市町村では、一部に放射線量が高い、いわゆるホットスポットがあるが、小野町ではどうか。

町内でも、雨樋などの一部で高い数値が出ていているところがある。

——いわゆるホットスポットを探すにはどうしたらいいのか。みんなですぐ探すれば測定機器を増やさなければならぬと思う。

現在、行政区長さんをお願いして空間の放射線量を測定していただいている。今後、行政区ごとどこを測つたらいいのか相談していきたい。

——放射能の問題は、5年ぐらいで忘れてもらっては困る。子どもの影響が大きいとされる。個人でも放射能測定機器が欲しい。町での補助はないのか。

町としても長期間にわたるモニタリングを行い、必要に応じた対策を行っていく。なお日数制限はあるが、測定機器の貸し出しを

行っているので、町民生活課に相談してほしい。

——小野町は線量が低いと言っているが、山林などどうなのか。これから風向きが変わったらどうなるのか。

町民の皆さんの協力も得ながら、必要な個所の放射能測定を継続し、その結果を住宅地図上に落としていきたい。

——放射能のモニタリングポストについて、年内に町内の数カ所に設置したいとの話があったが、どのようになつたか。

担当課に確認して、回答する。

(町民生活課)
文部科学省において、町内5カ所にモニタリングポストを今年度中に設置することを予定しており、場所の選定について現在調整中である。

——町の環境放射線量測定値がテレビのテロップに流れない。小野町も出してほしい。

担当課に確認して、回答する。

(企画商工課)

原発事故直後から県が継続して測定してきた地点の情報などを各テレビ局が発表しているとのことである。県内全地区の情報をテレビで放映するのは困難とのことだが、今後とも、町のホームページなどを通じて正確な情報提供を行っていきたい。

放射性物質の除染について

——教育施設で除染した土はどのように処理したか。

町では、ほかの自治体と比較しても放射線量は低いが、子どもがより安全な生活を送れるように教育施設についてはすでに除染を行い、除染による土壌は専用のバッグに入れて校庭の端の深いところへ埋めて覆土した。放射線量のモニタリング(継続監視)も実施して

おり、今のところ影響はないと考えている。

——教育施設以外に除染対象地域はあるのか。

国が示す平常時の許容被ばく放射線量である年間1ミリシーベルト(毎時0.23マイクローシーベルト)を超えるところについては除染の対象となると思われる。今後、きめ細かなモニタリングが必要となる。



＜教育施設の除染